

第6回補助26号線沿道地区街づくり懇談会 次 第

日 時：令和2年12月3日（木）18：30～
会 場：北沢タウンホール 12階 スカイサロン

1. 開会
2. 第5回街づくり懇談会の振り返り … 資料1
3. 沿道地区の将来像（案）について … 資料2、資料3
4. 意見交換
5. 街づくりアドバイザーより 国土舘大学 寺内教授
6. 閉会

●意見交換（第6回）のテーマ

『沿道地区の将来像（案）』
について

⇒付せん紙は「意見交換」で使用し
ます。ご意見をご記入ください。



第5回街づくり懇談会の振り返り 【要旨】

1. 第5回街づくり懇談会の開催概要
2. アンケートの概要
3. アンケートに関する東京都からの回答
4. アンケートに関する区からの回答

令和2年12月3日

世田谷区・目黒区

1. 第5回街づくり懇談会の開催概要

【日 時】令和2年2月27日（木）18：30～19：00

【会 場】北沢タウンホール12階スカイサロン

【参加者】11人

【内 容】沿道地区の将来像（案）について

- ①子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている
- ②建物の不燃化、耐震化が進み、災害に強いまち並みが形成されている
- ③環境に優しい、うるおいのあるまち並みが形成されている
- ④誰もが移動しやすい、安全性と快適性に配慮した道路が整備されている

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発言による意見交換は行わず、区からの資料説明の後に、アンケート用紙にご意見を記入していただきました。

2. アンケートの概要

出席者のうち、5人の方がアンケートに記入してくださいました。

内容は、次のとおりです。なお、アンケートの設問は、「街づくり懇談会の感想」、「補助26号線沿道地区の街づくりについて」、「その他」です。

設問1：街づくり懇談会の感想

- ・将来像（案）の出現を嬉しく思います。今後とも意見を集約し、案⇒計画へ前進していくことを期待します。
- ・意見交換が無く、残念でした。「継続は力」です。次回以降に期待します。
- ・次回（6回）に期待します。
- ・道路整備の進捗に合わせた今後の活動（取組み）に期待したい。
- ・区の「待ちから攻め」の街づくりの姿勢が伝わってきます。住民の合意形成上、大変良い取組みだと思います。
- ・難しい環境下での開催を感謝申し上げます。
- ・別がない。

設問2：補助26号線沿道地区の街づくりについて

将来像 (4つの柱)	<ul style="list-style-type: none"> 安全、安心、利便性の良い、幅広い世代の住民が住める町づくりを希望します。 防災上からも考えるべきである。 道路づけの良い地域には同意します。 道路が完成した後を想像すべきである（今はしにくいが）
用途地域 建物の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 都による用地買収準備が進んでいるので、用途地域変更手続きのスピード up お願いします。 住民若返り策の一環として二世帯住宅を建てやすい用途変更をお願いします。 今後益々の高齢化に備え、身近な場所に商店が出来ることは生活維持のために必要です。 高さ・建ぺい率・容積の緩和が望ましい。 沿道地域の建物は4～5階建まで可能とし、パチンコ店、ゲームセンター等の建築は制限して下さい。 高齢者も若い家族も共に楽しく暮らせる街にするためには、10mの高さ規制の緩和（日影規制は守りながら）や、小規模店舗OKは避けて通れないことだと思うが、当事者（30m住民）でないので、皆さんの意見に従います。
無電柱化による道路拡充	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い街づくりのため、26号線沿道の道路整備は重要な課題です。区道の無電柱化と道路拡充を進めて下さい。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーの地下通路 西側住民の避難所への通路確保。富士中生、駒高生、都営住民の池ノ上駅方面への通り路の確保のため。 代沢一丁目北側地域の町民の憩いの場所確保 補助26号線の天蓋部分を出来るだけ広くして、多目的に利用できる空間をつくる。 自動車の騒音・排気ガス等には十分留意した道路計画に願います。
居留意向	<ul style="list-style-type: none"> 私は買収されるので、近くに住みたい。マンションでもOKである。
国有地の活用	<ul style="list-style-type: none"> 国有地（会計検査院跡地）は、地域の為（緑地と代替地確保）に是非実現願いたい。

設問3：その他

魅力	<ul style="list-style-type: none"> 池ノ上St（駅）・東北沢St（駅）に近い。 立地条件は良い、ビル・マンションは人気が出る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 住民が増えれば住民税他も増収となる。（法人税も）

3. アンケートに関する東京都からの回答

(1) 道路整備について

意見：

- 補助26号線を横断するバリアフリーの地下通路が必要。西側住民の避難所への通路の確保や、富士中生、駒場高生、都営代沢一丁目アパート住民の池ノ上駅方面への通りの確保のため。

●補助26号線を横断するための地下通路の整備につきましては、困難となりますが、横断歩道の位置や信号機の設置など、今後、道路構造の詳細を検討していく中で、警視庁と調整を図りながら、安全面も考慮し適切な個所で道路横断が可能となるよう検討していきます。

意見：

- 代沢一丁目北側の住民の憩いの場所を確保するため、掘割部分に出来るだけ広い蓋をかけて、多目的に利用できる空間をつくってほしい。

●掘割部の蓋掛けの整備については、掘割部を通行する自動車や自転車が安全に走行するために必要な建築限界や、周辺の擁壁等の構造の詳細を検討していく中で、整備の可能性について検討を進めていきます。

意見：

- 自動車の騒音・排気ガス等には十分留意した道路計画に願います。

【「第3回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

●道路完成後の騒音や大気質については、今回整備する補助26号線（代沢）と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。

(2) 居住意向について

意見：

- 私は道路整備に伴い引っ越すことになるが、近くに住みたい。マンションでも良い。

●お話し合いを進めていくにあたっては、丁寧にサポートいたします。
●相談窓口も開設しており、専門家のアドバイスを受けられる体制も構築しているので安心していただきたいと思います。

4. アンケートに関する区からの回答

意見：

- 安全、安心、利便性の良い、幅広い世代の住民が住める街づくりを希望します。
- 沿道の街づくりを防災上からも考えるべきである。
- 道路づけの良い地域とすることには同意します。
- 道路が完成した後を想像すべきである（今はしにくいが）。

●第5回街づくり懇談会において、これまで皆様からいただいた街の現状と課題を踏まえ、「沿道地区の将来像（案）」の4つの柱を区から提案いたしました。今後、この4つの柱をもとに、沿道地区の将来像やその実現方策について意見交換をさせていただきます。

意見：

- 住民若返り策の一環として二世帯住宅を建てやすい用途地域の変更をお願いします。
- パチンコ店、ゲームセンター等の建築は制限してください。
- 高さ・建蔽^{べい}率・容積率の緩和が望ましい。
- 今後益々の高齢化に備え、身近な場所に商店が出来ることは生活維持のために必要です。
- 都による用地買収準備が進んでいるので、用途地域の変更手続きのスピードアップをお願いします。

●用途地域の変更は、東京都が定める「用途地域等に関する指定方針及び指定基準（令和元年10月）」では、原則として地区計画の策定が必要になります。今後の街づくり懇談会において、具体的な街づくりのルールについて意見交換を行っていただく際には、用途地域や地区計画等の制度について分かりやすくご説明いたします。

●地区計画の策定や用途地域等を変更するためには、沿道地区の住民の皆様による合意形成が必要であることから、区といたしましては、今後も、街づくり懇談会における意見交換の内容について、情報を発信していきます。また、街づくり懇談会に参加することができない方の意見をうかがう方法についても検討していきます。

●なお、用途地域は東京都が決定するため、今後、住民の皆様の合意形成の状況を踏まえながら、東京都と協議を進めてまいります。

意見：

- 沿道地域の建物は4～5階建まで可能としてください。
- 高齢者も若い家族も共に楽しく暮らせる街にするためには、10mの高さ規制の緩和（日影規制は守りながら）や、小規模店舗の立地を認めることは避けて通れないことだと思うが、私は当事者（沿道30mの住民）ではないので、皆さんの意見に従います。

●現在、沿道地区の大部分は、建築物の高さの最高限度が10mとなっています。沿道地区における将来の建築物の高さの最高限度につきましては、今後の街づくり懇談会において、沿道地区の将来像を皆様と共有した上で、「将来的にも現状のままがよいとするのか」、「変更する場合には、どれ位の高さまで許容することができるのか」などについて、皆様と意見交換しながら検討を進めていきます。

意見：

・災害に強い街づくりのため、補助26号線沿道の道路整備は重要な課題です。接続する区道の無電柱化と道路拡充を進めてください。

●区では、令和元年6月に「世田谷区無電柱化推進計画」及び「世田谷区無電柱化整備5ヵ年計画」を策定しました。区では、費用対効果の観点から効率的かつ効果的に事業を推進することが重要であり、無電柱化の必要性の高い道路から優先的に無電柱化を図るとしています。

●令和元年度から令和10年度の10年間に無電柱化事業の着手を目指す路線として、区が施行する都市計画道路・主要生活道路のうち32路線(約10.4km)、既存道路については「都市防災機能の強化」、「安全で快適な歩行空間の確保」、「良好な都市景観の創出」の3つの目的から評価し、モデル路線として整備効果が高いとされる7路線(約2.0km)を選定し、計画的に進めてまいります。

意見：

・国有地(旧国家公務員住宅用地)は、地域のために緑地と代替地としての活用を是非実現願いたい。

●ご質問の国有地につきましては、国は、旧国家公務員住宅用地の管理処分の方向性について、「本財産に係る土地利用のあり方を含め、処分方針検討中である」としています。現時点における活用方針は未定となっています。

意見：

・将来像(案)の出現を嬉しく思います。今後とも意見を集約し、案から計画へ前進していくことを期待します。

・区の「待ちから攻め」の街づくりの姿勢が伝わってきます。住民の合意形成上、大変良い取り組みだと思えます。

・難しい環境下での開催を感謝申し上げます。

・意見交換が無く、残念でした。「継続は力」です。次回以降に期待します。

・次回(第6回)に期待します。

・道路整備の進捗に合わせた今後の活動(取組み)に期待したい。

●沿道地区住民の皆様による合意形成が早期に図られるよう、街づくり懇談会において活発な意見交換が行えるよう、工夫をしていきます。

第6回
補助26号線沿道地区
街づくり懇談会

令和2年12月3日
世田谷区・目黒区

本日の流れ

1. 開会
2. 第5回街づくり懇談会の振り返り
3. 沿道地区の将来像（案）について
4. 意見交換
5. 街づくりアドバイザーより
6. 閉会

3

沿道地区の将来像（案）について

街づくり懇談会における検討の流れ

第1回	懇談会開催主旨の説明 沿道街づくりについて意見交換
第2回	地域の魅力と課題について意見交換
第3回	街の将来像について意見交換
第4回	将来の街並みについて意見交換
第5回	将来像（案）の提案
第6回	将来像（案）の検討
⋮	将来像の実現化に向けたルールの検討

街の現状、
課題の検討

**沿道地区の
将来像の検討**

将来像の
実現化手法の
検討

計画上の
位置づけ

地区の
現況

住民等から
のご意見

将来像（案）

- ① 子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている
- ② 建物の不燃化、耐震化が進み、災害に強いまち並みが形成されている
- ③ 環境に優しい、うるおいのあるまち並みが形成されている
- ④ 誰もが移動しやすい、安全性と快適性に配慮した道路が整備されている

計画上の
位置づけ

世田谷区都市整備方針（平成27年4月）

- 世田谷区の長期的な視点に立った都市づくり・街づくりの総合的な基本方針となるものです。



計画上の 位置づけ




世田谷区都市整備方針

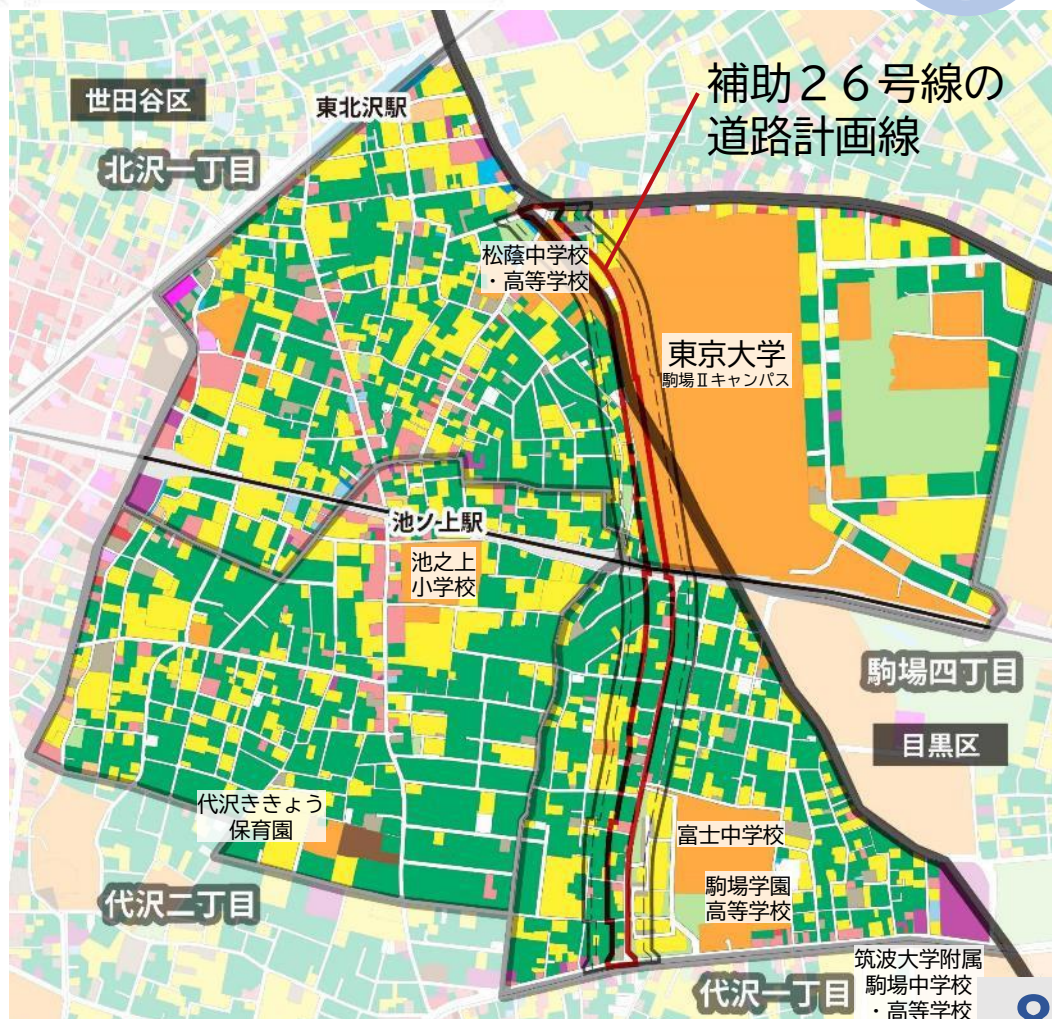
- 都市計画道路事業による土地利用の変化に対応するため、**周辺の住宅地との調和を図りながら**、沿道の土地利用などを適切に誘導します。
- 特に特定整備路線や**延焼遮断帯**を構成する都市計画道路周辺の市街地については、事業の進捗に応じて、沿道市街地の**不燃化、耐震化**を進めます。

土地利用

- 大半が**住宅地**（独立住宅・集合住宅）です。
- 近隣には、幼稚園から大学までの**多様な教育施設**があります。

凡例

-  独立住宅
-  集合住宅
-  教育文化施設



建物の構造

- 目黒区側は、東大があるため、耐火造が多くなっていますが、世田谷区側は、約6割の建物が防火造・木造です。

凡例

燃えにくい



耐火造



準耐火造

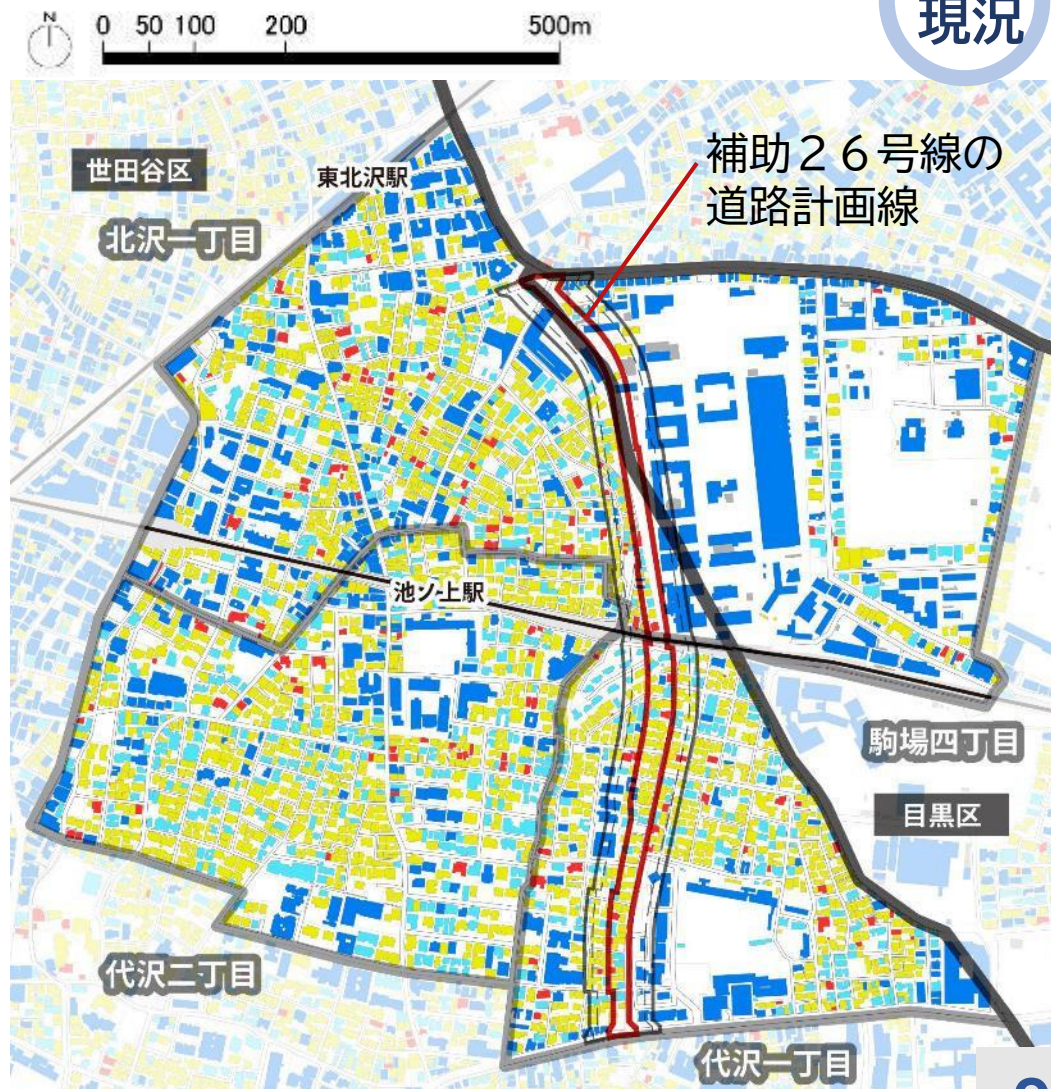


防火造



木造

燃えやすい



緑・自然

- 東大や都営アパートなどの大規模な敷地の中に良好な緑地があり、豊かな自然が楽しめる環境を形成しています。



凡例

- 公園等
- 緑地
- 街路樹



<主なご意見の一部>

- ・この街の魅力は、閑静な低層住宅街。
- ・高齢化に対応した住環境を整備する。
- ・若い世代も住み、子どもの声が聞こえる活気ある街になると良い。
- ・建物の不燃化を推進する。
- ・緑豊かで空気も良い、現在の環境の維持。
- ・国有地・残地の活用（公園・緑地・憩いの場・代替住宅としての活用等）。
- ・東西の横断ルートの確保が重要な課題。
- ・交通量が増えることによる騒音や振動、排気ガスについて対策してほしい。

住環境

防災

みどり

道路

など

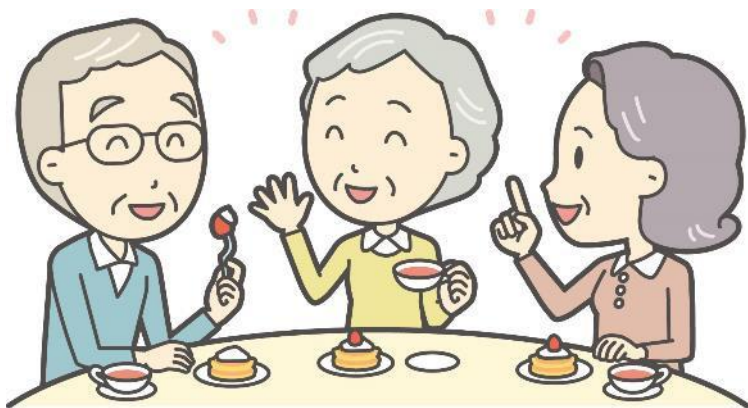
- ① 子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている
- ② 建物の不燃化、耐震化が進み、災害に強いまち並みが形成されている
- ③ 環境に優しい、うるおいのあるまち並みが形成されている
- ④ 誰もが移動しやすい、安全性と快適性に配慮した道路が整備されている

沿道地区の将来像（案）

- ① 子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている

【例えば...】

新たな道路の沿道には、住宅を主体としつつ、コンビニやカフェなどが立地し、誰もが暮らしやすく、住み続けたいと思う良好な住環境が形成されているイメージです。



生活に便利な施設のイメージ

沿道地区の将来像（案）

- ① 子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている

【例えば...】

新たな道路の沿道には、住宅を主体としつつ、低層と中層の建物が建ち並び、後背地の住宅地は、静かで良好な住環境が維持されているイメージです。



低層と中層の建物によるまち並みのイメージ

沿道地区の将来像（案）

② 建物の不燃化、耐震化が進み、 災害に強いまち並みが形成されている

【例えば...】

- 補助26号線の整備に伴い、今現在の耐震性能や、耐火性能の建物が建ち並び、災害に強いまち並みが形成されているイメージです。
- 地震時に倒壊しやすい構造の塀を造ることを制限することにより、安全な歩行環境が形成されているイメージです。
- 各家庭で雨水の流出抑制を図り、豪雨対策による水害に強い環境が形成されているイメージです。



雨水タンク



雨水浸透ます



浸透（トレンチ）管

沿道地区の将来像（案）

- ③ 環境に優しい、うるおいのある
まち並みが形成されている

【例えば...】

庭先の緑が連続することにより、うるおいのあるまち並みが形成されているイメージです。



生垣や花壇が連続したうるおいのあるまち並みのイメージ

沿道地区の将来像（案）

④ 誰もが移動しやすい、 安全性と快適性に配慮した道路が整備されている

【例えば...】

- 車道、歩道、自転車道を分離することにより、安全で快適な歩行空間と自転車の走行空間が確保されているイメージです。
- 電線類を地中化することにより、良好な都市景観が創出されているイメージです。
- 安全面を考慮し、適切な個所で道路横断ができるようになるイメージです。



歩行空間と自転車走行空間のイメージ
「事業のあらまし」（東京都）から抜粋

沿道地区の将来像（案）と実現化手法の例

将来像（案）

- ① 子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている
- ② 建物の不燃化、耐震化が進み、災害に強いまち並みが形成されている
- ③ 環境に優しい、うるおいのあるまち並みが形成されている
- ④ 誰もが移動しやすい、安全性と快適性に配慮した道路が整備されている

実現化手法の例

地区計画・
地区街づくり計画の策定

用途地域等の変更

補助26号線の整備

実現化手法の例

地区計画

地区計画は、都市計画法に基づく制度で区が策定します。地区の目標や方針を実現するために、建築物の用途や形態等の制限を定めます。身近な一定の範囲で定める計画です。

屋根や外壁の色彩の
ルールを定める

建物の高さの
最高限度を定める



垣や柵の作り方、緑化、
雨水の流出を抑制するための施設の
設置などについてルールを定める

建築物の用途の制限を定める

検討する具体的なルールのイメージ

実現化手法の例

地区街づくり計画

地区街づくり計画は、世田谷区街づくり条例に基づく制度です。地区の特性に応じてきめ細かいルールを定めることができます。



北沢三・四丁目地区
地区街づくり計画
【平成7年4月】

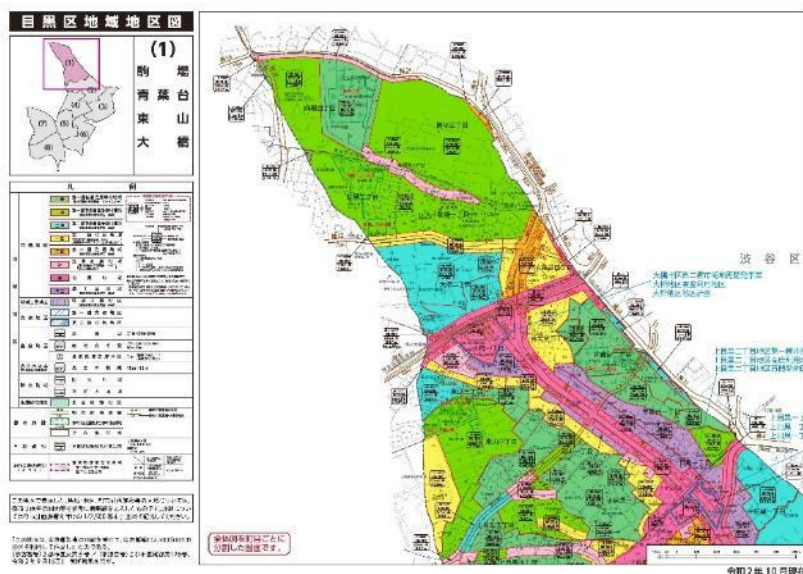


池尻四丁目・三宿二丁目地区
地区街づくり計画
【平成30年4月】

実現化手法の例

用途地域

用途地域は、都市計画法に基づく制度です。地域ごとに建物の用途等を定めたルールで、世田谷区では多摩川河川敷の一部を除く区内のほぼ全域に、目黒区では全域に指定されています。変更は東京都が行います。



目黒区地域地区図（用途地域等）分割図
（1）駒場、青葉台、東山、大橋
【令和2年10月】



世田谷区都市計画図1（北沢地域）
【令和2年3月】

4

意見交換

●第1回～第4回『補助26号線沿道地区街づくり懇談会』と『街づくりアンケート』でいただいた主なご意見

	現状の魅力・問題認識	沿道地区の将来の姿（将来像）について	沿道地区の将来の街並みについて
沿道地区の街づくりについて	現状の魅力 <ul style="list-style-type: none"> この街の魅力は閑静な低層住宅街である。 長期にわたり維持してきた静穏な住宅地。 静かな住宅街。 近くにコンビニ等があり便利である。 大学等、公共性の高い場所が多い。 現在の道路状況で、とても利便性があり生活のしやすい環境である。 車の通り抜けが少なく静かで歩きやすい。 池ノ上駅に近く交通アクセスがよいのに静かである。 ゆったりとした街並み。 陽当たりが良く、緑の多い低層住宅街、絶対に守るべき。 自然も多く残っており空気も良い。 池ノ上駅に近く商業地としても、立地的価値が高い。 東京大学西側の崖の景観（桜や鶯が見られる環境）が魅力そのものである。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●静かで良好な住環境の維持について <ul style="list-style-type: none"> 現状より静かに保たれるようにしてほしい。 今までどおり静かな住宅街であってほしい。 渋谷や三軒茶屋など、近くに賑やかな街はあるので、この街は静かさを大切にしたい。 自動車の通り抜けの少ない静かな街であると良い。 ●誰にも優しい住みやすい街づくりについて <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に優しい街づくり。高齢者が元気に活動できる街。 高齢化に対応した住環境を整備する。 住民の“住みやすい街”をめざしてほしい。 身近な場所でショッピングや食事ができると良い。 次の世代に、美しく楽しい街を残したい。 高齢者だけでなく、若い世代も住み子どもの声が聞こえる、活気のある街になると良い。 子育てがしやすい街に。 子どもや高齢者、車いすが通行しやすい環境をつくる。 住民がこの街に住み続けられるような施策を望む。 ●豊かな自然や緑豊かな環境について <ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然を楽しめる街へ。自然環境を維持する。 世田谷の街として、緑が多く、ごみごみとしていない外観を維持したい。 陽当たりの良い緑の多い街を絶対に守るべき。 緑が豊かで空気も良い、現在の環境の維持。 街路樹や植栽の美しい、緑あふれる街。 環境負荷を考慮した、次世代のモデルとなる街づくり。 ●防災まちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> 防災まちづくりをめざしてきたい。災害に強い街へ。 特に防災面で、安全・安心に暮らせる街づくり。 延焼遮断帯の形成を早期に実現する。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> 沿道（線）と後背の住宅地（面）のバランスが良い街。 懇談や憩いのための場がもっとあると良い。 <p style="text-align: right;">など</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●街並み形成のルール全般について <ul style="list-style-type: none"> 住環境を保つため、現状維持とすべき。 住環境が守られる程度の変更を望む。 生活を継続するため、少しでも広く家を建替えられるようルールを緩和してほしい。 耐火性の高い多用途のマンションが建つ程度まで緩和してほしい。 掘割部分の多い道路の沿道で、用途地域の変更等を行う必要性が分からない。 用途地域の変更や高さ制限を緩和すると、街並みが変わってしまう。 用途地域や地区計画等の仕組みについて、具体的に理解して議論したい。 用途地域の変更と地区計画は必要である。計画があれば早急にしめしてほしい。 沿道住民が建て替えしやすいように、用途地域を変更してほしい。 ●建物高さについて <ul style="list-style-type: none"> 建物高さは現状の高さ制限（10メートル）を緩めずに維持したい。 高さ制限は絶対に緩めないでほしい。周囲に与える圧迫感や日照の影響が心配。 建物高さは緩和しても良いと思う。用途地域を変更して高さ制限を緩和してほしい。 ●建物用途について <ul style="list-style-type: none"> 現在の住宅地を維持したい。コンビニの建設などを行うべきではない。 新たな若い世代を受け入れられるマンションや二世帯住宅があると良い。 住宅以外にも、様々な用途の建物ができると良い（日用品の店舗、コンビニ、カフェ、レストラン、保育施設、介護施設、図書館など）。 道路構造が特殊なので、店舗は立地しにくいのではないかと心配。空き店舗化も心配。 交差点付近等、道路付きの良い部分のみ店舗の立地を認めるのはどうか。 ●建物等の構造について <ul style="list-style-type: none"> 建物の不燃化を推進する。 住環境が守られる範囲で、堅ろうな建物が建つようにする。 災害時に備え、コンクリートブロック、フェンスの高さを制限する。 <p style="text-align: right;">など</p>
		問題認識 <ul style="list-style-type: none"> ●居住意向について <ul style="list-style-type: none"> 今の近くに住みたい。住み続けたい。 ●生活環境について <ul style="list-style-type: none"> 坂などがあり、高齢者が移動しにくい。 周辺には公園が数多く立地しているが、駐車場が少なく、利便性に欠ける。 ●災害について <ul style="list-style-type: none"> 谷地のところでの延焼が心配である。 道路が狭く、緊急車両の通行や避難の面が心配である。 高低差があるため水害が心配である。 歴史的に水が出やすい地域である。 ●交通の安全について <ul style="list-style-type: none"> 狭い道路を多くの車や自転車が走り危険である。 <p style="text-align: right;">など</p> 	<p style="text-align: center;">その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緑化 <ul style="list-style-type: none"> 住宅や街路、公園などの一層の緑化を推進する。 緑地や公園を確保して、住民の憩いの場にする。 ●国有地の活用 <ul style="list-style-type: none"> 国有地を活用して、立退きが必要な人の代替住宅や小さな図書館、憩いの場となる公園をつくるのはどうか。また、防災空地としての役割を持たせるのはどうか。 ●残地の活用 <ul style="list-style-type: none"> 残地を活用して、代替住宅や北沢一丁目公園とつながった緑地をつくれぬか。 残地を活用して、地域で育てる花壇をつくるのはどうか。 <p style="text-align: right;">など</p>

●補助26号線の東西方向の往来（横断）について

- ・掘割部分が多いため横断歩道や渡し、歩道橋など、東西の横断ルートの確保が重要な課題である。
- ・横断歩道を設け地域の分断を最小限にすべき。
- ・補助26号線の通学路部分において、歩行者の安全性は確保されるのか。
- ・緊急車両が補助26号線を横断するのに遠回りになるのではないか。
- ・周辺利用者の安全や避難経路を確保し、道路整備後も移動の利便性を確保するため、次のような場所で補助26号線を横断できるようにしてほしい。（[別紙：意見まとめマップ]参照）
 - ・三角橋交差点付近
 - ・東京大学西側の出入口付近
 - ・京王井の頭線南側の掘割部分
 - ・都営代沢一丁目アパート北西側部分、南西側部分

●補助26号線の道路構造について

- ・東京大学西側に想定されている擁壁を緑化するなどして、圧迫感を軽減できないか。
- ・アンダーパス部分において大雨時に冠水が発生しないか心配。十分な排水処理を検討してほしい。
- ・長いアンダーパスは、治安の面でも心配である。防犯カメラを設置してほしい。
- ・アンダーパス部分は、歩道だけでも浅い部分につくり、副道との行き来をやすくしてほしい。
- ・アンダーパス付近にエレベーターを設置するなど、本線の歩道と地上部の副道とを容易に移動できるようにしてほしい。
- ・車道部分をトンネル化して、地上の生活動線から切り離せないだろうか。

●補助26号線の整備について

- ・戦後に計画された道路を、今になって整備する必要性が分からない。工事を中止してほしい。
- ・地域に必要な道路は、車を通すための道路ではなく「生活道路」である。

●生活動線について

- ・道路整備後、淡島通りへのアクセスが不便になる街区がある。
- ・道路整備後、池ノ上駅から自動車アクセスするのが不便になる街区がある。

●生活環境について

- ・東京大学西側などの緑地について、道路整備により景観が変わってしまうことが不満である。
- ・交通量が増えることによる振動や騒音、排気ガスについて対策してほしい。特に上り坂になる部分は、自動車がエンジンをふかし騒音が大きくなるのではないか。入念に対策を考えてほしい。
- ・大きな道路ができることで、駐停車する車が多くなるのではないか。

●補助26号線と周辺市街地のすり付きについて

- ・補助26号線と周辺の道路はどのようにすり付くのか。具体的な情報を知りたい。

●工事期間中の動線について

- ・工事期間中、自家用車や緊急車両の動線はどうなるのか。移動が制限されないような対策が必要。
- ・工事車両の往来や周辺の抜け道の交通量の増加により、危険になるのではないか。
- ・騒音や振動が不安。ダンプカーの侵入経路など、工事の方法について具体的な情報を早く知りたい。
- ・工事期間が非常に長く感じる。早く完成させてほしい。

など

●歩行者優先の考え方について

- ・車中心の社会ではなく、人中心の物の考え方をしていかないといけない。
- ・車優先ではなく、歩行者優先の道路にすべきである。
- ・歩行者と自転車の利用域の分別してほしい。
- ・歩道は広く平らにし、ガードレールをしっかりとつけてほしい。
- ・車いすでも通行しやすいよう、バリアフリー化を徹底してほしい。

●街路樹等による緑化について

- ・学校もあるため、街路樹をたくさん植えて、道路を緑で覆ってほしい。
- ・街路樹や花壇を設置してほしい。
- ・東京大学の敷地内にある桜や、富士中学校のシンボルであるオリーブなど、地域にゆかりのある街路樹を植えるのはどうか。地域の思い出になっている古い樹もたくさんある。
- ・掘割道路の上部に蓋をかけて、魅力ある公園にするのはどうか。

●電線類の地下化について

- ・電線類を地中化し、道路の緑化とあわせて美しい景観を創出してほしい。

●補助26号線周辺の道路について

- ・現在幅員が狭い京王井の頭線南側の道路について拡幅整備してほしい。
- ・その他、狭い周辺道路を拡幅してほしい。
- ・都営代沢一丁目アパート前の副道から淡島通りまで直接アクセスできる、バリアフリー対応の通路を整備してほしい。
- ・現在階段になっている部分を、自動車が通行できるように再整備してほしい。
- ・補助26号線と周辺をつなぐ緑の回廊を整備し、人と自然が共生する、全国の先進事例となるような道路にしてほしい。
- ・周辺道路も含め、電線類を地中化してほしい。

●周辺地域の交通環境について

- ・現状の交通環境に満足している。あえて補助26号線から自動車が流入しないような対策を講じてほしい。（京王井の頭線北側）
- ・抜け道になり交通量が増加する道路もあると考えられる。既存の周辺道路にも配慮した計画にしてほしい。（京王井の頭線南側）
- ・周辺の住宅街が抜け道として利用されないようにしてほしい。

●その他


- ・補助26号線の整備に合わせて、バス路線が通るようにしてほしい。
- ・緊急車両が通行しやすくなることは良い。
- ・掘割の工事を行う際、水が出ないか心配である。
- ・道路が整備されることで、文教施設や公園などが利用しやすくなると思う。


など


別紙：意見まとめマップ

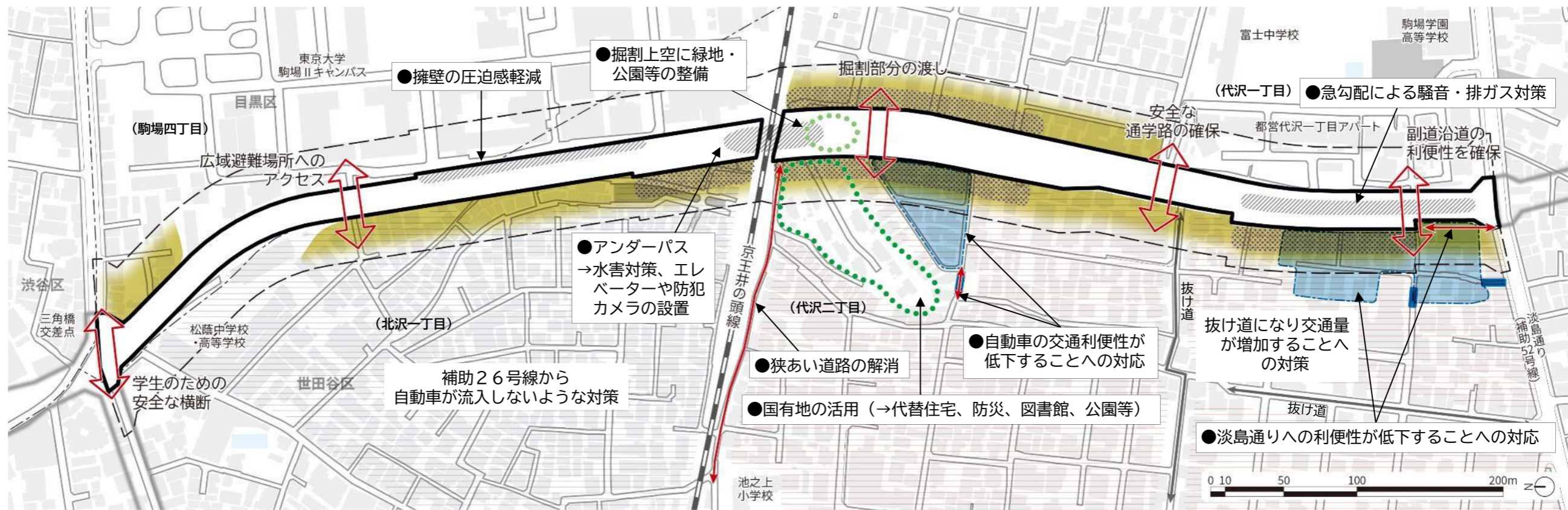
沿道地区の将来の姿（将来像）	
●静かで良好な住環境の維持	●豊かな自然
●子どもから高齢者まで住みやすい	●環境負荷への配慮
●住み続けたい	●防災面の安全・安心
	●歩行環境の安全・安心

沿道地区の将来の街並み		
建物の用途について	建物の高さについて	全般的な街並みのルールについて
●住宅地のままが良い	●現状維持を望む	●住環境を保つため、現状維持
●新たな若い世代を受け入れられるマンション等	●圧迫感や日照の影響が心配	●防災性向上のため変更
●日用品の店舗、コンビニ	●緩和しても良い	●住環境が守られる程度の変更
●カフェ、レストラン		●生活継続のため緩和
●保育施設、介護施設		●変更の必要性が疑問
●図書館 など		●制度を理解して議論したい

●下図  京王井の頭線北側の街並み
 ・新たな若い世代を受け入れる環境づくりとして、中層程度のマンション、学習塾、クリニックなどができると良い。

●下図  掘割部分や副道沿道の街並み
 ・道路構造が特殊なため通行量が少なくなるのでは。特に店舗が立地しにくいのではないか。
 ・この部分では、建物用途や建物高さの制限を現状維持できないか。









●下図  京王井の頭線南側の街並み
 ・交差点付近など、道路付けの良い場所のみ店舗の立地を認めるのはどうか。



道路整備における問題・課題認識	
整備後の道路	工事期間中
●東西の横断の確保	●安全の確保
●安全な避難経路の確保	●自動車の動線の確保
●生活動線の変化への対応	●音や振動、地下水への配慮
●街路樹等による道路の緑化	●工事期間の短縮
●誰もが安全に通行できる	●住民への情報提示
●騒音・振動・排気ガス等への対策	
●電線類地中化	
●水害対策	
●駐停車増加への対策	
●周辺道路とのすり付き	

道路整備を契機とした周辺における希望
●周辺の狭あい道路の解消
●周辺道路の電線類地中化
●残地の活用 (代替住宅や緑地・花壇)
●バス路線の拡大

道路整備にあたっての問題・課題、道路整備や沿道街づくりを通じた地域に対する希望

-  補助26号線の横断について
-  補助26号線整備について（上記以外）
-  その他の道路等の整備について
-  副道の整備により予想される交通利便性の低下について
-  周辺敷地の活用について
-  掘割上空の活用について
-  京王井の頭線北側の交通環境について
-  京王井の頭線南側の交通環境について

